

指定廃棄物長期管理施設の詳細調査候補地選定プロセスの検証結果

(最終報告)

平成27年7月8日

栃木県指定廃棄物処分等有識者会議

1 検証の目的

栃木県指定廃棄物処分等有識者会議は、国による指定廃棄物長期管理施設の詳細調査候補地の選定プロセスが、決められた栃木県版選定手法に則り適切に行われたかについて、専門的な見地から検証を行った。

2 検証の経緯

- 平成26年8月20日 第1回栃木県指定廃棄物処分等有識者会議
9月24日 詳細調査候補地の現地視察
11月11日 第2回栃木県指定廃棄物処分等有識者会議
平成27年1月23日 検証作業（第1回）
2月18日 検証作業（第2回）
3月16日 第3回栃木県指定廃棄物処分等有識者会議（中間報告）
6月10日 検証作業（第3回）
7月8日 第4回栃木県指定廃棄物処分等有識者会議（最終報告）

3 検証結果の概要

(1) 選定プロセスのチェックリスト全50項目（「津波」を除く49項目）について、国が示している出典資料に基づき検証を行った結果、全て「適」となり、国による選定は栃木県版選定手法に則り適切に行われたと判断する。

※ 検証過程で国が使用した資料の一部に欠落（誤り）があることが判明したが、選定結果に影響がないことを確認した。

(2) 当会議は、詳細調査候補地の現地を確認した結果も含め、専門的な見地から別添のとおり意見を附す。

【大項目ごとの内訳】

大項目	項目数	適
I 利用可能な国有地・県有地	2	2
II 安全等の確保に関する事項	31	31
III 必要面積を確保した土地の抽出	6	6
IV 安心等の理解が得られやすい土地の選定	10	10
計	49	49

【附帯意見】

- 1 詳細調査候補地の東側には西荒川が流れているため、過去における降雨量を踏まえたシミュレーションを行うなど、長期管理施設への影響を調査する必要がある。
- 2 河川が近いという現況から地下水位が高いことが推察されるため、地下構造物を設置する場合の地下水の動向及び地下水圧による地下構造物への影響を調査する必要がある。
- 3 詳細調査候補地が付帯施設も含め長期管理施設全体の設置に十分な面積を有しているかどうか精査する必要がある。
- 4 詳細調査の結果とその評価については、県民に分かりやすく説明する必要がある。

4 結びに

当会議としては、国による詳細調査についても、本報告内容を踏まえ検証するとともに、県民からの不安や提案、疑問等に対して助言を行うなど、当会議の役割を積極的に果たしていく。

国においては、指定廃棄物問題の一日も早い解決に向けて努力し、引き続き県民に対して丁寧に説明することを期待する。